

「高校入学編」情報共有ツール（サポートブック）試用版



このサポート・ブックは、（ ）が初めての高校生活をスムーズに始められるよう本人と話し合いながら、家庭内外での経験や中学校や関係機関の先生方からの情報に基づいて作成しました。先生方に本人の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じて学習・社会場面でサポートしていただけると、少しでも早く、学校生活を不安なく過ごせるようになるものと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和〇年〇月〇日 作成者：（ ）

☆個人情報保護のため、情報を共有される場合は保護者の承諾を得てください。

プロフィール

名 前：

生年月日：

家 族：

住 所： 大阪市

連絡先： 携 帯

自 宅

医療機関： ホームドクター …

主治医（発達障がい）…

相談先・支援機関：

診断名（発達障がい）： なし・あり

⇒

てんかん ：なし・あり ⇒

アレルギー：なし・あり ⇒

その他の疾患： なし・あり ⇒

薬 ： なし・あり ⇒

配慮事項：なし・あり ⇒

発達・知能検査：なし・あり ⇒

障がい者手帳： なし・あり ⇒

得意なこと・興味関心

☆得意なこと・主体的に取り組んでいること

・
・
・

☆興味・関心

・
・
・

落ち着くこと

☆落ち着くこと

- ・場所：
- ・もの：
- ・活動：
- ・食物：
- ・その他：

苦手なこと・不安になりやすいこと

☆高校は中学校に比べて広く、初めて会う先生や生徒も多い新しい環境です。
環境の変化が大きいため入学当初は毎日不安と緊張の連続であることが予想されますが、
相談できる先生や友人の存在と本人に合ったサポートをしていただくことで安心して通学
することができると思っています。ご協力よろしくお願いたします。

以下のような場所・場面では、緊張が高く不安になりやすいですが、
⇒ のようなサポートがあると安心できます。

・場所：

⇒
⇒

・場面：

⇒
⇒

・ひと：

⇒
⇒

・食事：

⇒

・その他：

⇒
⇒

コミュニケーション・対人関係について

☆言語指示について

- 口頭での一斉指示を聞き逃すことが 多い・特に問題ない
⇒

- 同時に複数の指示されると混乱することが 多い・特に問題ない
⇒

☆コミュニケーション

- ★困ったときにヘルプを発信することが 苦手です・特に問題ない
⇒

⇒

- 会話で困ること あり・なし

⇒

⇒

- グループで話し合うとき困ること あり・なし

⇒

⇒

☆対人関係

- 新しい集団の中で人間関係をつくるのが 苦手・特に問題ない

⇒

現在受けている支援

☆

先生方からの情報

☆中学校で：

記入日 R 年 月 日

☆学習塾、療育機関などで：

記入日 R 年 月 日

☆高校で：入学から1か月間の様子を教えてください。

記入日 R 年 月 日

検査結果のまとめ

☆主治医、心理士、専門スタッフより

生活習慣、その他について

•生活習慣：

•身の回りのこと：

•交通機関の利用

☆校内の移動：

☆見通し・計画性：

☆問題解決：

☆自己理解：

☆その他

エルム花子

「高校入学編」情報共有ツール（サポートブック）試用版 記入例



このサポート・ブックは、（エルム花子）が初めての高校生活をスムーズに始められるよう本人と話し合いながら、家庭内外での経験や中学校や関係機関の先生方からの情報に基づいて作成しました。先生方に本人の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じて学習・社会場面でサポートしていただけると、少しでも早く、学校生活を不安なく過ごせるようになるものと信じています。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和〇年〇月〇日 作成者：（エルム花代・エルム花子）

☆個人情報保護のため、情報を共有される場合は保護者の承諾を得てください。

プロフィール

名 前： エルム ^{はなこ}花子

生年月日： 平成〇〇年〇〇月〇〇日 16歳 〇ヵ月

家 族： 父、母、兄、弟

住 所： 大阪市 〇〇区△△ X丁目〇番△号

連絡先： 携 帯 母 XXX-XXXX-XXXX

自 宅 06 -XXXX-XXXX

医療機関： ホームドクター … 〇〇病院△△Dr（風邪など）

主治医（発達障がい）… 〇〇クリニック △△Dr

相談先・支援機関： こども相談センター

〇〇学習塾

相談先、通っている療育機関。習い事や学習塾等もサポートされていれば記入しましょう

診断名（発達障がい）： なし・あり

⇒ 自閉スペクトラム症 + 読み書き障がい

てんかん：なし・あり ⇒

アレルギー：なし・あり ⇒ そばアレルギー

その他の疾患：なし・あり ⇒ アトピー性皮膚炎

薬：なし・あり ⇒ 安定剤（保健室で管理してもらっています）

アトピー性皮膚炎の軟膏

配慮事項：なし・あり ⇒ 食物（そば）と汗・暑さについて配慮が必要です。

環境の変化のストレスで蕁麻疹が出ることも。

発達・知能検査：なし・あり ⇒ WISC-IV（別紙参照）

障がい者手帳：なし・あり ⇒ 精神障がい者保健福祉手帳3級

検査結果や意見書があれば資料としてコピーを添付されるとよいと思います。

得意なこと・興味関心

☆得意なこと・主体的に取り組んでいること

- ・シンプルな課題は単独でやり遂げられます。
- ・毎日の家事の手伝いなど決められた責任はきちんと果たします。
- ・得意な教科は理科（生き物系）です。

努力してできていること、続けてできていることをたくさん見つけて記入してください。

☆興味・関心

- ・魚類や水生生物にとてもくわしいです。将来は海洋学部に進学し水族館で働きたいと思っています。
- ・家でもいろいろな魚を水槽で飼っています。
- ・釣りや水族館によく出かけます。

興味あることや得意なことは、余暇が充実し自尊心・自己肯定感を育くむだけでなく、級友との話のきっかけになる可能性があります。

落ち着くこと

☆落ち着くこと

- ・場所：静かな所（中学校：学習園や階段の突き当りなど）
- ・もの：タオルケットにくるまる、水、ぬいぐるみ（大小どちらも）
ポケットの中でビーズのプレスレットをさわると安心できます。
- ・活動：魚の動画・写真を見る、水槽の魚を見る、他
- ・食物：チョコレート、飴（食べると落ち着く）
- ・ペット：愛猫とふれあう

苦手なこと・不安になりやすいこと

☆高校は中学校に比べて広く、初めて会う先生や生徒も多い新しい環境です。環境の変化が大きいため入学当初は毎日不安と緊張の連続であることが予想されますが、相談できる先生や友人の存在と本人に合ったサポートをしていただくことで安心して通学することができると思っています。ご協力よろしくお願いいたします。

以下のような場所・場面では、緊張が高く不安になりやすいですが、
⇒ のようなサポートがあると安心できます。

- ・場所：混雑したところ、音の響きやすいところ、初めて行くところ
⇒ 外出時にはノイズキャンセレータ付きのイヤホンを使っています。
⇒ 中学校内ではあらかじめ情報提供していただき、苦手な場所を避けたり耳栓等の利用などの工夫をしていました。
- ・場面：予定や人の急な変更、行事（参観、避難訓練など）
⇒ 急な変更の場合は、できるだけすぐに見通しもふくめて視覚的に伝えていただけると混乱する時間が短くなり助かります。
- ・ひと：初めて会う人、小さな子ども、人が急に寄ってくることも苦手です。
⇒ 声かけや挨拶などの合図をしてから近寄ってきてくれると安心できます。複数の人が集まっているところに入っていきのめ苦手な緊張します。
⇒ よく知っている級友や先生がそばで声かけしてくれると安心できます。
- ・食事：豆腐、ゼリー、納豆、パン、牛乳が苦手です。
かむのが苦手なため食事のスピードはゆっくりです。
⇒ 普段は本人が食べやすいお弁当なので今のところ問題はないと思います。
- ・その他：感覚の敏感さがあるため、突然の大きな音（避難訓練のアナウンスなど）や子どもの泣き声などが聞こえると不安になります。
また、まわりの級友にペースがついていけないとわかった時にも不安が高じてパニックになり固まってしまうことが多々あります。
⇒ 「大丈夫、ゆっくりやろう」等と声をかけていただくと安心します。
☆本人より…パニックになりそうな時、ひとりになれる場所があると安心できます。

苦手なこと・不安になりやすいことをあらかじめ知っておいていただくことで、学校内のトラブルを回避する可能性が高くなり、不安が高じてパニックになった時も原因を理解してもらいやすくなります。

苦手なこと・不安になりやすいことをあらかじめ知っておいていただくことで、学校内のトラブルを回避する可能性が高くなり、不安が高じてパニックになった時も原因を理解してもらいやすくなります。
☆対応方法も必ず記入してください。

コミュニケーション・対人関係について

☆言語指示について

- 口頭での一斉指示は聞き逃すことが **多い**・問題ない
 - ⇒ 視覚的に情報提示したのちに個別に確認してもらった方が理解しやすいようです。文章を表示される場合は、短く具体的な表現でお願いします。
 - * 宿題やテスト範囲などはメールやLINEで教えていただくと有難いです。
- 同時に複数の指示をされると混乱することが **多い**・問題ない
 - ⇒ 1回に1つずつ指示していただくと、指示が理解しやすく実力を発揮しやすいです。

☆コミュニケーション

★困ったときにヘルプを発信することが **苦手です**・特に問題ない

- ⇒ さりげなく観察・見守り、困っていそづなときは先生から声をかけていただくととても有難いです。
- ⇒ 校内で相談する先生が決まっていると相談しやすいようです。
- 会話で困ること **あり**・なし
会話を字義通りに解釈する傾向が強く、冗談か本気かわからなくて苦労しています。
 - ⇒ 会話する時は、なるべく具体的にわかりやすい表現でお願いします。
 - ⇒ 友人同士の会話で誤解が生じた場合は間で通訳していただくと有難いです。
- グループで話し合うとき困ること **あり**・なし
特に発言は苦手です。
 - ⇒ 聞き役で参加するのは得意です。視覚化しながらの話し合いの方がわかりやすいです。
 - ⇒ 事前にテーマがわかっていたら意見をノートにまとめて準備することができます。
 - ⇒ グループ編成の時に配慮していただくと有難いです。

☆対人関係

- 新しい集団の中で人間関係をつくるのが **苦手**・特に問題ない
幼児期からの付き合いの友人の助けもあり、おとなしいタイプなので、今まで友人間でのトラブルはありませんが、新しい環境下で友人ができるかは心配です。
 - ⇒ 自らグループに入ることが難しいため、当初はさりげなくサポートしていただくと有難いです。

現在受けている支援

☆読み書き障がいへのサポート：

読み書き障がいがあるため、小中学校ではデジタル教科書やiPad等、読み書きサポートツールを使用しながら学習を進めてきました。高校でも、引き続き読み書きに関するサポートをよろしくお願いいたします。

☆現在の状況：

- 読み…逐次読みなので長い文章を読みながら理解するのは苦手です。そのため教科書の内容は読み上げソフトを使って聞いて学んでいます。
- 書き…文字を読むこと自体が苦手なので黒板の板書を見て時間内にノートに写すことができません。板書はiPadで記録しています。

先生方からの情報

☆中学校で：

記入日 RO年O月O日

入学前：中学校の先生に、クラスでの様子や工夫、配慮事項など進学後に役立つ伝達事項を記入してもらってください。

☆学習塾、療育機関などで：

記入日 RO年O月O日

入学前：ご本人の発達障がいの特性や、療育機関で活用している環境調整や支援の工夫など、中学入学に向けて役立ちそうな情報を記入してもらってください。

☆高校で：入学から1か月間の様子を教えてください。 記入日 RO年O月O日

初めての環境（高等学校）の中で過ごす初めの1か月は本人も家族も一番不安になりやすい時期です。この時期に先生とコミュニケーションをとることで困っていることについて早めに対策を考えていくことができます。ご本人が楽しく過ごせていることがわかるとご家族も安心ですね。

検査結果のまとめ

☆主治医、心理士、専門スタッフより

検査の種類、実施機関、検査日、結果（IQ、DQ、強味・弱み）、検査者・主治医の所見・助言、などを記入してもらってください。

生活習慣、その他について

- 生活習慣： 睡眠リズムは安定しています。
食事～ゼリーなど柔らかい食感のものだけ苦手です。
- 身の回りのこと：特に問題ありません。
- 交通機関の利用：公共の交通機関を利用しての通学は初めてです。中学時代は友人と一緒にバスでショッピングなどに出かけることはありました。
ひとりで交通機関を利用して出かけることを練習中です。
- ☆校内の移動： 方向感覚に苦手さがあるため広い学校内での教室移動に慣れるのには少し時間がかかりそうです。校内で迷うこともあるかもしれません。
- ☆見通し・計画性：①急な予定の変更は苦手で、静かに混乱して固まってしまうことが多いです。
②宿題の提出期限やテスト勉強を開始するタイミング等を考えることが苦手ですので、今は家族が支援しています。勉強はまじめにしますが、宿題を提出し忘れて帰ってきたりすることもあります。
③いつまでにどこに行けばよいか把握するのが苦手です。
- ☆問題解決：困ったときに助けを求めることが苦手です。
- ☆自己理解：読み書き以外についても、何となく困り感を感じてきたところです。
- ☆その他：

「高校入学編」情報共有ツール（サポートブック）本人用 試用版



このサポート・ブックは、私が初めての高校生活をスムーズに始められるように家族と話し合いながら、家庭内外での経験や中学校や関係機関の先生方からの情報に基づいて作成しました。先生方に私の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じて学習・社会場面でサポートしていただけると、少しでも早く、学校生活を不安なく過ごせるようになると思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和〇年〇月〇日 作成者：()

☆個人情報保護のため、情報を共有される場合は私の承諾を得てください。

プロフィール

名 前：

生年月日：

家 族：

住 所： 大阪市

連絡先： 携 帯

自 宅

医療機関： ホームドクター …

主治医（発達障がい）…

相談先・支援機関：

診断名（発達障がい）： なし・あり

⇒

てんかん ：なし・あり ⇒

アレルギー：なし・あり ⇒

その他の疾患： なし・あり ⇒

薬 ： なし・あり ⇒

配慮事項：なし・あり ⇒

発達・知能検査：なし・あり ⇒

障がい者手帳： なし・あり ⇒

得意なこと・興味関心

☆得意なこと・主体的に取り組んでいること

・
・
・

☆興味・関心

・
・
・

落ち着くこと

☆落ち着くこと

- ・場所：
- ・もの：
- ・活動：
- ・食物：
- ・その他：

苦手なこと・不安になりやすいこと

☆高校は中学校に比べて広く、初めて会う先生や生徒も多い新しい環境です。環境の変化が大きいため入学当初は毎日不安と緊張の連続であることが予想されますが、相談できる先生や友人の存在と本人に合ったサポートをしていただくことで安心して通学することができると思っています。ご協力よろしくお願いたします。

以下のような場所・場面では、緊張が高く不安になりやすいですが、
⇒ のようなサポートがあると安心できます。

・場所：

⇒
⇒

・場面：

⇒
⇒

・ひと：

⇒
⇒

・食事：

⇒

・その他：

⇒
⇒

コミュニケーション・対人関係について

☆言語指示について

- 口頭での一斉指示を聞き逃すことが 多い・特に問題ない
⇒

- 同時に複数の指示されると混乱することが 多い・特に問題ない
⇒

☆コミュニケーション

- ★困ったときにヘルプを発信することが 苦手です・特に問題ない
⇒

⇒

- 会話で困ること あり・なし

⇒

⇒

- グループで話し合うとき困ること あり・なし

⇒

⇒

☆対人関係

- 新しい集団の中で人間関係をつくるのが 苦手・特に問題ない

⇒

現在受けている支援

☆

先生方からの情報

☆中学校で：

記入日 R0年0月0日

☆学習塾、療育機関などで：

記入日 R0年0月0日

☆高校で：入学から1か月間の様子を教えてください。

記入日 R0年0月0日

検査結果のまとめ

☆主治医、心理士、専門スタッフより

生活習慣、その他について

•生活習慣：

•身の回りのこと：

•交通機関の利用

☆校内の移動：

☆見通し・計画性：

☆問題解決：

☆自己理解：

☆その他

エルム花子

「高校入学編」情報共有ツール（サポートブック）本人用 試用版 記入例



このサポート・ブックは、私が初めての高校生活をスムーズに始められるよう家族と話し合いながら、家庭内外での経験や中学校や関係機関の先生方からの情報に基づいて作成しました。先生方に私の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じて学習・社会場面でサポートしていただけると、少しでも早く、学校生活を不安なく過ごせるようになると思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和〇年〇月〇日 作成者：（エルム花子）

☆個人情報保護のため、情報を共有される場合は本人の承諾を得てください。

プロフィール

名 前： エルム ^{はなこ}花子

生年月日： 平成〇〇年〇〇月〇〇日 16歳 〇ヵ月

家 族： 父、母、兄、弟

住 所： 大阪市 〇〇区△△ X丁目〇番△号

連絡先： 携 帯 母 XXX-XXXX-XXXX

自 宅 06 -XXXX-XXXX

医療機関： ホームドクター … 〇〇病院△△Dr（風邪など）

主治医（発達障がい）… 〇〇クリニック △△Dr

相談先・支援機関： こども相談センター

〇〇学習塾

相談先、通っている療育機関。習い事や学習塾等もサポートされていれば記入しましょう

診断名（発達障がい）： なし・あり

⇒ 自閉スペクトラム症 + 読み書き障がい

てんかん：なし・あり ⇒

アレルギー：なし・あり ⇒ そばアレルギー

その他の疾患：なし・あり ⇒ アトピー性皮膚炎

薬：なし・あり ⇒ 安定剤（保健室で管理してもらっています）

アトピー性皮膚炎の軟膏

配慮事項：なし・あり ⇒ 食物（そば）と汗・暑さについて配慮が必要です。

環境の変化のストレスで蕁麻疹が出ることも。

発達・知能検査：なし・あり ⇒ WISC-IV（別紙参照）

障がい者手帳：なし・あり ⇒ 精神障がい者保健福祉手帳3級

検査結果や意見書があれば資料としてコピーを添付されるとよいと思います。

得意なこと・興味関心

☆得意なこと・主体的に取り組んでいること

- ・ シンプルな課題は単独でやり遂げられます。
- ・ 毎日の家事の手伝いなど決められた責任はきちんと果たします。
- ・ 得意な教科は理科（生き物系）です。

☆興味・関心

- ・ 魚類や水生生物にとってもくわしいです。
将来は海洋学部に進学し水族館で働きたいと思っています。
- ・ 家でもいろいろな魚を水槽で飼っています。
- ・ 釣りや水族館によく出かけます。

努力してできていること、続けてできていることをたくさん見つけて記入してください。

興味あることや得意なことは、余暇が充実し自尊心・自己肯定感を育くむだけでなく、級友との話のきっかけになる可能性があります。

落ち着くこと

☆落ち着くこと

- ・ 場所：静かな所（中学校：学習園や階段の突き当りなど）
- ・ もの：タオルケットにくるまる、水、ぬいぐるみ（大小どちらも）
ポケットの中でビーズのプレスレットをさわると安心できます。
- ・ 活動：魚の動画・写真を見る、水槽の魚を見る、他
- ・ 食物：チョコレート、飴（食べると落ち着く）
- ・ ペット：愛猫とふれあう
- ・ その他

苦手なこと・不安になりやすいこと

☆高校は中学校に比べて広く、初めて会う先生や生徒も多い新しい環境です。環境の変化が大きいため入学当初は毎日不安と緊張の連続であることが予想されますが、相談できる先生や友人の存在と本人に合ったサポートをしていただくことで安心して通学することができますと信じています。ご協力よろしくお願いたします。

以下のような場所・場面では、緊張が高く不安になりやすいですが、
⇒ **のようなサポートがあると安心できます。**

・場所：混雑したところ、音の響きやすいところ、初めて行くところ

- ⇒ 外出時にはノイズキャンセレータ付きのイヤホンを使っています。
- ⇒ 中学校内ではあらかじめ情報提供していただき、苦手な場所を避けたり耳栓等の利用などの工夫をした上で行く等をしていました。

・場面：予定や人の急な変更、行事（参観、避難訓練など）

- ⇒ 急な変更の場合は、できるだけすぐに見通しもふくめて視覚的に伝えていただけると混乱する時間が短くなり助かります。

・ひと：初めて会う人、小さな子ども、人が急に寄ってくることも苦手です。

- ⇒ 声かけや挨拶などの合図をしてから近寄ってきてくれると安心できます。複数の人が集まっているところに入っていきの苦手な緊張します。
- ⇒ よく知っている級友や先生がそばで声かけしてくれると安心できます。

・食事：豆腐、ゼリー、納豆、パン、牛乳が苦手です。
かむのが苦手なため食事のスピードはゆっくりです。

- ⇒ 私が食べやすいお弁当を母が作ってくれるので今のところ問題はないと思います。

・その他：感覚の敏感さがあるため、突然の大きな音（避難訓練のアナウンスなど）や子どもの泣き声などが聞こえると不安になります。
また、まわりの級友にペースがつかないといけないとわかった時にも不安が高じてパニックになり固まってしまうことが多々あります。

- ⇒ 「大丈夫、ゆっくりやろう」等と声をかけていただくと安心します。

☆パニックになりそうな時、ひとりになれる場所があると安心できます。

苦手なこと・不安になりやすいことをあらかじめ知っておいていただくことで、学校内のトラブルを回避する可能性が高くなり、不安が高じてパニックになった時も原因を理解してもらいやすくなります。

苦手なこと・不安になりやすいことをあらかじめ知っておいていただくことで、学校内のトラブルを回避する可能性が高くなり、不安が高じてパニックになった時も原因を理解してもらいやすくなります。
☆対応方法も必ず記入してください。

コミュニケーション・対人関係について

☆言語指示について

- 口頭での一斉指示を聞き逃すことが **多い**・特に問題ない
 - ⇒ 視覚的に情報提示したのちに個別に確認してもらった方が理解しやすいです。文章を表示される場合は、短く具体的な表現をお願いします。
 - * 宿題やテスト範囲などはメールやLINEで教えていただくと有難いです。
- 同時に複数の指示されると混乱することが **多い**・特に問題ない
 - ⇒ 1回に1つずつ指示していただくと、指示を理解しやすく実力を発揮しやすいです。

☆コミュニケーション

- ★困ったときにヘルプを発信することが **苦手です**・特に問題ない
 - ⇒ さりげなく観察・見守り、困っていそづなときは先生から声をかけていただくととても有難いです。
 - ⇒ 校内で相談する先生が決まっていると相談しやすいです。
- 会話で困ること **あり**・なし
会話を字義通りに解釈する傾向が強く、冗談か本気かわからなくて苦労しています。
 - ⇒ 会話する時は、なるべく具体的にわかりやすい表現をお願いします。
 - ⇒ 友人同士の会話でわからなくなった時は先生に通訳していただくと有難いです。
- グループで話し合うとき困ること **あり**・なし
特に発言は苦手です。
 - ⇒ 聞き役で参加するのは得意です。視覚化しながらの話し合いの方がわかりやすいです。
 - ⇒ 事前にテーマがわかっていたら意見をノートにまとめて準備することができます。
 - ⇒ グループ編成の時に配慮していただくと有難いです。

☆対人関係

- 新しい集団の中で人間関係をつくるのが **苦手**・特に問題ない
幼児期からの付き合いの友人の助けもあり、おとなしいタイプなので、今まで友人間でのトラブルはありませんが、新しい環境下で友人ができるかは心配です。
 - ⇒ 自分からグループに入ることが苦手であるため、当初はさりげなくサポートしていただくと有難いです。

現在受けている支援

☆読み書き障がいへのサポート：

読み書き障がいがあるため、小中学校ではデジタル教科書やiPad等、読み書きサポートツールを使用しながら学習してきました。高校でも、引き続き読み書きに関するサポートをしていただきたいです。

☆現在の状況：

- 読み…逐次読みなので長い文章を読みながら理解するのは苦手です。そのため教科書の内容は読み上げソフトを使って聞いて学んでいます。
- 書き…文字を読むこと自体が苦手なので黒板の板書を見て時間内にノートに写すことができません。板書はiPadで記録しています。

先生方からの情報

☆中学校で：

記入日 RO年O月O日

入学前：中学校の先生に、クラスでの様子や工夫、配慮事項など進学後に役立つ伝達事項を記入してもらってください。

☆学習塾、療育機関などで：

記入日 RO年O月O日

入学前：ご本人の発達障がいの特性や、療育機関で活用している環境調整や支援の工夫など、中学入学に向けて役立ちそうな情報を記入してもらってください。

☆高校で：入学から1か月間の様子を教えてください。

記入日 RO年O月O日

初めての環境（高等学校）の中で過ごす初めの1か月は本人も家族も一番不安になりやすい時期です。この時期に先生とコミュニケーションをとることで困っていることについて早めに対策を考えていくことができます。ご本人が楽しく過ごせていることがわかるとご家族も安心ですね。

検査結果のまとめ

☆主治医、心理士、専門スタッフより

検査の種類、実施機関、検査日、結果（IQ、DQ、強味・弱み）、検査者・主治医の所見・助言、などを記入してもらってください。

生活習慣、その他について

・生活習慣： 睡眠リズムは安定しています。
食事～ゼリーなど柔らかい食感のものだけ苦手です。

・身の回りのこと：特に問題ありません。

・交通機関の利用：公共の交通機関を利用しての通学は初めてです。中学時代は友人と一緒にバスでショッピングなどに出かけることはありました。
ひとりで交通機関を利用して出かけることを練習中です。

☆校内の移動： 方向感覚に苦手さがあるため広い学校内での教室移動に慣れるのには少し時間がかかりそうです。校内で迷うこともあるかもしれません。

☆見通し・計画性：①急な予定の変更は苦手で、静かに混乱して固まってしまうことが多いです。
②宿題の提出期限やテスト勉強を開始するタイミング等を考えることが苦手なので、今は母と一緒に確認しています。せっかくした宿題を提出するのを忘れて帰ってきたりすることもあります。
③いつまでにどこに行けばよいか把握するのは苦手です。

☆問題解決：困ったときに助けを求めることが苦手です。

☆自己理解：読み書き以外についても、何となく困り感を感じてきています。

☆その他：

()

「 編」情報共有ツール（サポートブック）試用版

御中

このサポート・ブックは、私が家族と話し合いながら初めての()生活をスムーズに始められるよう、家庭内外や高校での経験、関係機関の先生方からの情報に基づいて作成しました。私の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じてご支援・ご協力いただくと有難いです。どうぞよろしく願いいたします。

令和 年 月 日 署名：

作成者：

☆情報共有対象：学生支援室、保健センター、学科教官の皆さん

☆希望するサポート：履修登録などの修学支援と精神面でのサポート

☆個人情報保護のため情報共有される場合は本人の承諾を得ていただければ幸いです。

プロフィール

名 前： (年 月 高等学校 卒業)

生 年 月 日：

家 族：

住 所： 大阪市

最寄り駅：

緊急連絡： 携 帯

メルアド

自 宅

保護者携帯

医療機関：

相談先・支援機関：

診断名（発達障がい）： なし・あり ⇒

その他の疾患：なし・あり ⇒

薬 : なし・あり ⇒

☆入学試験を受けたときの配慮事項

あり・なし ⇒

() 生活を迎えるにあたって

☆配慮事項：なし・あり

① 学生生活について …

② 授業について …

③ 体調について …

☆今まで利用していた支援内容

困りごと



対応方法・利用している支援

-
-
-
-
-
-
-
-

得意なこと・興味関心

☆得意なこと・興味関心など

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

落ち着くこと

☆落ち着くこと

- ・場所：
- ・もの：
- ・活動：
- ・食物：
- ・その他：

苦手なこと・不安になりやすいこと

以下のような場所、場面では、緊張が高く不安になりやすいですが、

⇒ のような配慮があると安心できます。

- ・場所：
- ・場面：
⇒
- ・ひと：
⇒
⇒
- ・生活習慣：
- ・その他：
⇒
⇒

コミュニケーション・対人関係について

☆言語指示について

・口頭での一斉指示を聞き逃すことが 多い・問題ない
⇒

・同時に複数の指示をされると混乱することが 多い・問題ない
⇒

☆コミュニケーション

★困ったときにヘルプを発信することが 苦手です・特に問題ない
⇒
⇒

・会話で困ること あり・なし
⇒
⇒

・グループで話し合うとき困ること あり・なし
⇒
⇒
⇒

☆対人関係

・新しい集団の中で人間関係をつくるのが 苦手・特に問題ない
⇒

先生方からの情報

☆ 高等学校、高等専門・専修学校で： 記入日 R 年 月 日

☆他機関からの情報：

記入日 R4年 月 日

☆大学で：前期の様子（学生支援室の方にお願いたします） 記入日 R4年 月 日

ライフスキル、その他について

- 生活習慣：
- 環境設定：
- セルフケア：
- 交通機関の利用：
- 校内の移動：
- ☆見通し・計画性：
- ☆問題解決：
- ☆自己理解：

エルム太郎

「大学入学編」情報共有ツール（サポートブック）試用版 記入例

大学 御中

このサポート・ブックは、私が家族と話し合いながら初めての大学生活をスムーズに始められるよう、家庭内外や高校での経験、関係機関の先生方からの情報に基づいて作成しました。私の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じてご支援・ご協力いただけると有難いです。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年〇月〇日 署名：エルム太郎

作成者：エルム太郎・花代

☆情報共有対象：学生支援室、保健センター、学科教官の皆さん

☆希望するサポート：履修登録などの修学支援と精神面でのサポート

☆個人情報保護のため情報共有される場合は本人の承諾を得ていただければ幸いです。

プロフィール

名前：エルム太郎（令和3年3月〇〇高等学校 通信科 卒業）

生年月日：平成〇〇年〇〇月〇〇日 19歳 3ヵ月

家族：父、母、祖母、弟

住所：大阪市 〇〇区 最寄り駅：大阪メトロ 〇〇駅

緊急連絡：携帯 XXX-XXXX-XXXX メール abc@defgh…

自宅 06-XXXX-XXXX 保護者携帯 XXX-XXXX-XXXX

医療機関：内科主治医（アトピー性皮膚炎など）…〇〇病院 △△Dr

主治医（発達障がい）…〇〇クリニック △△Dr

相談先・支援機関：こども相談センター、〇〇学習センター

診断名（発達障がい）：なし・**あり** ⇒ 自閉スペクトラム症

その他の疾患：なし・**あり** ⇒ アトピー性皮膚炎、睡眠障害、片頭痛

薬：なし・**あり** ⇒ 安定剤・睡眠導入剤、アトピー性皮膚炎の軟膏

主治医の医療機関や相談先。学習塾等もサポートされている機関があれば記入しましょう

☆入学試験を受けたときの配慮事項

あり・なし ⇒ 事前に受験会場を下見に行き不安を軽減。

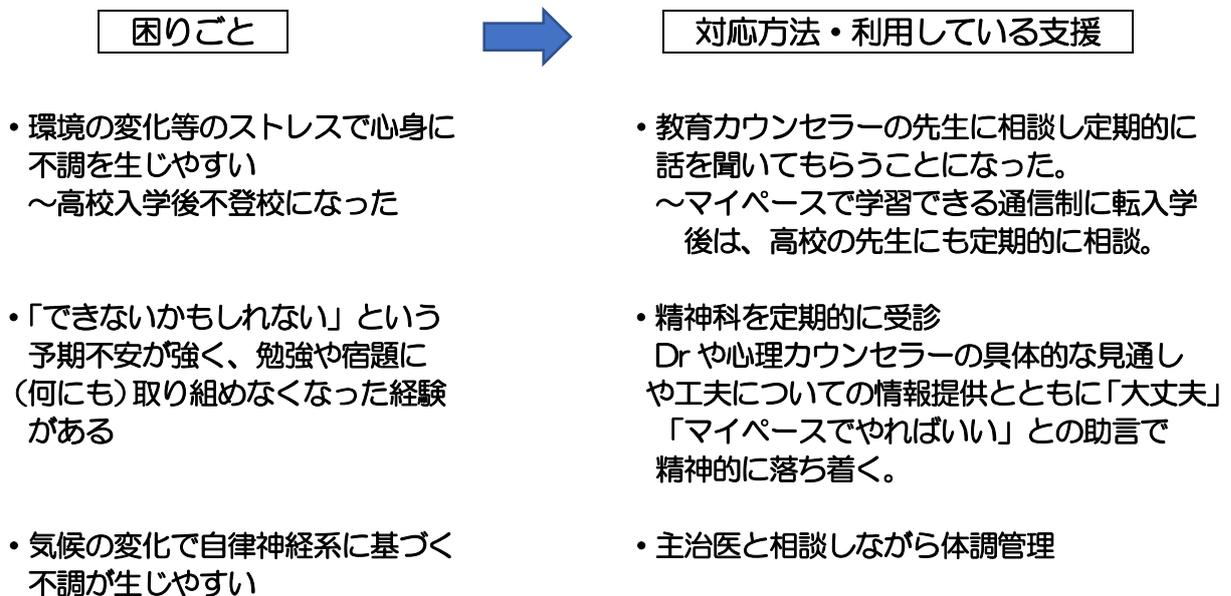
多人数の中では緊張するため別室にて個別に受験した。

大学生活を迎えるにあたって

☆配慮事項：なし・あり

- ① 学生生活について … 履修登録など学生生活に関するさまざまな手続きや
絵ポート作成など修学に向けての相談・支援サービスを利用できると有難いです。
- ② 授業について … 修学に向けてはサポートが必要かもしれません。
チューター制度があれば利用したいです。
聞き取りが苦手（視覚優位）ですので、スライド教材にテキストを入れるなど配慮いただくと有難いです。
- ③ 体調について … 予期不安の強さや気候の変化で体調をくずしやすいです。
心理士さんの定期的なカウンセリングを受ける中で、大学生活に関して見通しを持てるよう助言をいただくと有難いです。
学内で体調が悪くなった時には保健センターを利用したいです。

☆今まで利用していた支援内容



得意なこと・興味関心

☆得意なこと・興味関心など

- 理数系の勉強が得意です。
- ロボット（AI）に興味があり、自分でも製作したりしています。
- ひとりでモノづくりをすることが好きです。
- 毎日の家事の手伝いなど決められたことはきちんと果たします。
- 得意な教科は物理です。

落ち着くこと

☆落ち着くこと

- 場所：静かな所、自分の部屋
- もの：タオルケット、柔らかい手ざわりのもの
- 活動：インターネットで興味のある情報を調べる、読書、寝ること
- 食物：水（水分をとると落ち着く） カレー等好物を食べる
- ペット：愛犬とふれあう

*不安が強くなった時には、安定剤を服用して静かなところで休むと落ち着きます。

苦手なこと・不安になりやすいこと

以下のような場所・場面では、緊張が高く不安になりやすいですが、
⇒ のような配慮があると安心できます。

- 場所：混雑したところ、音の響きやすいところ、初めて行くところ
- 場面：予定や人の急な変更、行事（参観、避難訓練など）
⇒ 急な変更の場合は、できるだけすぐに見通しもふくめてメールで視覚的に伝えていただくと混乱する時間が短くなり助かります。
*混乱していても見た目はわからないので気づいてもらいにくいです
- ひと：初めて会う人、小さな子ども、人が急に寄ってくると緊張します。
⇒ 声かけや挨拶などの合図をしてから近寄ってきてくれると安心できます。
複数の人が集まっているところに入っていきのめ苦手な緊張します。
⇒ 学科の教官、学生支援室の先生、カウンセラーさんなどがキーパーソンになっていただくと有難いです。
- 生活習慣：ストレスが高まると不眠になりやすいです。
- その他：感覚の敏感さがあるため、突然の大きな音（避難訓練のアナウンスなど）や子どもの声などが聞こえると不安になります。
また、予期不安が高じてパニックになり固まってしまうこともあります。
⇒ 「大丈夫ですよ」等と声をかけていただくと安心できます。

☆大学内で相談・避難できる場所があると安心できます。

コミュニケーション・対人関係について

困りがちなこととともに、こうすればうまくいきやすい、工夫の仕方などを記入しましょう。

☆言語指示について

- 口頭での一斉指示は聞き逃すことが **多い**・問題ない
 - ⇒ 視覚的に情報提示したのちに個別に確認してもらった方が入力しやすいようです。図式+文章の方が文章のみよりもわかりやすいとのこと。
 - *課題やレポート、試験範囲などはメールやLINEで教えていただくと有難いです。
- 同時に複数の指示をされると混乱することが **多い**・問題ない
 - ⇒ 1回に1つずつ指示していただくと、指示が入力しやすく実力を発揮しやすいです。

☆コミュニケーション

- ★困ったときにヘルプを発信することが **苦手です**・特に問題ない
 - ⇒ 定期的にカウンセリングや相談の時間を設けていただくと有難いです。
 - ⇒ 心理士さんや学生支援室の方、学科の先生など学内で相談するところが決まっていると相談しやすいようです。
- 会話で困ること **あり**・なし
会話を字義通りに解釈する傾向が強く、冗談か本気かわからなくて苦労しています。
 - ⇒ 会話する時は、なるべく具体的にわかりやすい表現をお願いします。
 - ⇒ 友人同士の会話で誤解が生じた場合は間で通訳していただくと有難いです。
- グループで話し合うとき困ること **あり**・なし
特に発言は苦手です。
 - ⇒ 聞き役で参加するのは得意です。視覚化しながらの話し合いの方がわかりやすいです。
 - ⇒ 事前にテーマがわかっている場合は意見をノートにまとめて準備することができます。
 - ⇒ 院生やグループにバディの存在があればとても助かります。
- ☆対人関係
 - 新しい集団の中で人間関係をつくるのが **苦手**・特に問題ない
 - ⇒ 自らグループに入ることが難しいため、決まった日時に相談に応じていただき、機会があればほかの学生さんをご紹介いただくと有難いです。

先生方からの情報

☆ 高等学校、高等専門・専修学校で： 記入日 R 年 月 日

入学前：配慮事項を記入してもらってください。

☆他機関からの情報：

記入日 R4年 月 日

☆大学で：前期の様子（学生支援室の方をお願いいたします）

記入日 R4年 月 日

ライフスキル、その他について

- 生活習慣：睡眠リズムは安定しています。
 - 環境設定：聴覚過敏があるため、移動するときは必ずノイズキャンセラー機能付きのヘッドフォンをつけています。
 - セルフケア：特に問題ありません。
 - 交通機関の利用：バスは苦手です。
 - 校内の移動：方向感覚に苦手さがあるため広い学校内での教室移動に慣れるのには少し時間がかかりそうです。校内で迷うこともあるかもしれません。
- ☆見通し・計画性：小グループの中でも口頭の指示に返答をしても次の行動に移れないことが多々あります。確認のための声掛けをしていただくと有難いです。見通しが明確でないと予期不安が高まって開始できなくなることも多いので、具体的な見通しを提示していただいた方が有難いです。
- ☆問題解決：困ったときに助けを求めることが苦手です。
- ☆自己理解：苦手なことや工夫については整理できつつあります。

「就職編」情報共有ツール（サポートブック）試用版

氏名：

令和

年

月

日

現在

プロフィール

生年月日：

年齢：

家族：

住所：

最寄り駅：

*通勤方法・所用時間 ⇒

連絡先： 携帯

メルアド

自宅

家族携帯

医療機関(発達障がい)：

Dr

(その他)：

*通院のための休暇希望 なし・あり ⇒

服薬： なし・あり ⇒

*服薬管理協力 …

診断名： なし・あり ⇒

その他の疾患： なし・あり ⇒

支援機関：

障がい者手帳： なし・あり ⇒

その他：

就職、職業訓練までの経過・経験

得意な（できている・できていた）仕事・スキル

ストレス（不安）を感じやすい状況・場面について

状況・場面	サイン	対処方法	配慮をお願いしたい事項

コミュニケーション・対人面について

☆長 所

	自分の特徴	対処法	配慮をお願いしたい事項
1.会 話			
2.意 図			
3.ヘルプ			

作業遂行面について

☆ 長 所

自分の特徴

対処法

配慮をお願いしたい事項

1.指示内容

2.優先順位

3.予定変更

4.ペース

5.安定性

6.質問・報告

7.共同作業

8.振り返り

希望する働き方

1. 勤務日数・時間について

① 勤務日数 ⇒ 固定 週に 日 ・ 段階的に増やしたい
土日祝は 休みたい・出勤してもよい

② 勤務時間 ⇒ フルタイム・フルタイム以外

2. 作業環境について

苦手な（避けたい）もの…

*希望する配慮 ⇒

御中

このサポート・ブックは、御社にて働く際に仕事をスムーズに遂行できるよう、支援者の方と相談して作成しました。私の特徴や支援方法等について情報共有し、必要に応じてご指導・ご協力いただくと大変有難いです。どうぞよろしくお願いいたします。

令和 年 月 日
署名：

☆個人情報保護のため情報共有される場合は本人の承諾を得ていただければ幸いです。

「就職編」情報共有ツール（サポートブック）試用版 記入例

氏名： エルム 太郎

令和 4 年 4 月 1 日 現在

プロフィール

生年月日： 〇〇年〇〇月〇〇日

年齢： 25歳2か月

家族： 父、母、弟 ～ 家族と同居

住所： 大阪市 △区 〇〇×× 1-2-3

最寄り駅： Osaka メトロ 〇〇線 △△駅

*通勤方法・所用時間 ⇒ メトロ+徒歩・約1時間

連絡先： 携帯 070-××××-××××

メルアド ×××@×××.ne.jp

自宅 06-××××-××××

家族携帯 (母) 090-××××-××××

医療機関(発達障がい)： 〇〇病院 精神神経科

×× Dr

(その他)： 〇△整形外科、△△耳鼻科

*通院のための休暇希望 あり ⇒ 月1回 木曜日

服薬： あり ⇒ 安定剤(朝・夕)、睡眠導入剤(就寝前)

*服薬管理協力 … 不要

診断名： あり ⇒ 自閉スペクトラム症(ASD)

その他の疾患： あり ⇒ アレルギー(ほこり、日本そば)、花粉症

支援機関： A就労移行支援事業所、就業・生活支援センター、エルムおおさか

障がい者手帳： あり ⇒ 精神障がい者保健福祉手帳2級

その他： 障がい基礎年金受給中 2級

就職、職業訓練までの経過・経験

- ・18歳：大学に合格し大阪を離れて初めての一人暮らしをしながら大学生活を始めるが、半年ほどでうつを発症、通学できなくなり帰阪。1年休学した後に中退することになった。
これまでにアルバイトなど働いた経験はなかった。
- ・20歳：「広汎性発達障がい」と診断され、精神科のDrにエルムおおさかを紹介されて相談来所。
- ・22歳：自宅近くの事業所に半年間通ってパソコンの技術をブラッシュアップし生活リズムを整えた。
- ・23歳：事務職を目指して就労移行支援事業所に通所することになり、2年間通所。

この間にエクセル、ワードなどの資格を取得。CADの使い方も習得した。

特例子会社や一般企業数社でインターン(事務職)を経験した。

- ・24歳：求職活動を開始し、御社の面接・インターンを経て就職(障がい者雇用)することとなった。

得意な(できている・できていた)仕事・スキル

- ・パソコンを使っての作業：データ入力・グラフ作成、名刺作成、伝票処理、文書作成など
- ・作業内容が視覚的に明示されたデスクワークは丁寧かつスピーディに遂行することができる
- ・インターネットで情報収集すること
- ・決められたルールに従ってまじめに仕事を遂行すること
- ・決められた時間に出勤し週5日5時間以上働き続けること

ストレス（不安）を感じやすい状況・場面について

状況・場面	サイン	対処方法	配慮をお願いしたい事項
1.新規な場面 突然の変更	表情がなくなる 動きが止まる 作業速度が遅くなる マイナスの深読みを しやすくなる	深呼吸 水分補給 相談する	事前の情報提供（できる限り） 休憩することを促す 相談できる人を決めておいて ほしい
2.雑音が多い 話し声が多い	集中力が落ちる 怒りっぽくなる 作業速度が遅くなる	耳栓などをして 場所を移動し 休憩する	環境音を減少させる器具の使用 許可 配置場所への配慮 休憩場所の設定
3.温度変化 特に暑さ	ひどくなると頭痛	冷却グッズを使う	体温調節のためのグッズ使用 許可 温度変化の少ない場所への配置

コミュニケーション・対人面について

☆長 所	誠実に（表裏なく）話す・対応する 礼儀正しい やり方が決まっている仕事に関する会話は対応できる 論理的な説明は得意		
	自分の特徴	対処法	配慮をお願いしたい事項
1.会 話	臨機応変に対応できない 質問するタイミングが わかりにくい 雑談することは苦手 食べながら話すことも苦手	ゆっくり考えてわかること だけ回答する 無理はしない 昼食はひとりで食べる	上司・同僚に臨機対応に対応 できないことを伝えておいて ほしい（気を悪くさせたくない） 質問シートを使わせてほしい 休憩時間はひとりで過ごさせて ほしい
2.意 図	相手の意図が分かりにくい	確認する	気持ちや意図はことばで明確に 伝えてもらった方がわかりやすい
3.ヘルプ	困ったときに助けを求める ことがとても苦手	ヘルプカードを使っていた （事業所）	確認の声かけをしてほしい 定期的に相談・振り返りの時間 を設けてもらえるとう助かる

作業遂行面について

☆ 長 所

パソコンを使っての作業（データ入力・グラフ作成、名刺作成、伝票処理など）は得意
 同じ作業を数時間集中して遂行できる
 視覚的に明示されたデスクワークは丁寧かつスピーディーに遂行することができる

	自分の特徴	対処法	配慮をお願いしたい事項
1.指示内容	口頭の指示だけでは聞き もらすことが多い 同時に複数の指示をされる と困る *マルチタスクが苦手	作業内容は視覚的に明示して もらい、To Doリストを活用 (付箋紙で整理)	マニュアル、図、メール等で 視覚的に明示した上で簡潔に 伝えてもらうと確実に遂行できる *指示は一度に一つずつ *指示する人は一人 …が望ましい
2.優先順位	急にすることが増えると優先 順位をつけながら遂行するこ とができにくくなる	その時点での優先順位のメモ 書きをチェックして遂行 (事業所)	急な仕事が入る場合は、その時点 での優先順位をメモで知らせてい ただけると有難い
3.予定変更	予定変更に対応 することが苦手	事前に予定変更がわかると 心の準備ができる →変更の有無を毎日確認	予定変更は早めに、 作業途中での変更は難しいので 事前・事後に伝えていただきたい
4.ペース	周りのペースに合わせて 作業することは苦手 *流れ作業には合わない	自己完結するタイプの デスクワークを選択	自分のペースで取り組める作業を 与えてもらった方が貢献できる
5.安定性	過集中になると、休憩するの を忘れてしまい、その後疲労 して作業できなくなることが ある	50分間作業したら5分間 休憩するようにしていた (タイマー使用)	確実に休憩を取っていけるように タイマーを利用したい
6.質問・報告	作業に慣れるまでは、うまく できているか自信がもてず 何度も質問してしまう 慣れると報告をし忘れる	担当スタッフに質問の時間を 作ってもらった 作業終了と報告をセット	誰に・いつ、質問・報告するか 決めておいていただきたい 報告のシステムがあると確実に 遂行できる
7.共同作業	共同作業は苦手	役割分担が明示されている 場合は参加できる	比較的自分のペースでできる仕事 を割り当てていただいた方が実力 を発揮しやすいと思う
8.振り返り	自分だけで仕事のでき具合を チェックしても、本当に期待 通りにできているのか自信が 持てない 常に不安に思うことがある	定期的に担当スタッフと一緒 に振り返りをする事で現状 把握と達成感を感じることが できた	定期的に上司に振り返りの時間を とっていただけると有難い

希望する働き方

1. 勤務日数・時間について

① 勤務日数 ⇒ 固定 週に 5 日 ・ 段階的に増やしたい
土日祝は 休みたい ~休養したい

② 勤務時間 ⇒ フルタイム以外
段階的に勤務時間を増やして、最終的にはフルタイムで働きたい

2. 作業環境について

苦手な（避けたい）もの… 環境音や話し声が多い、温度変化の大きい、せまい場所
突然の変更が多い状況、雑談しなければならない休憩時間

*希望する配慮 ⇒ 苦手なものをできる限り避けられる作業環境、環境音を減少させる器具等の使用、
視覚的に確認しやすい情報提示、相談・報告する人の明示、ひとりで休憩すること
の許可 等

株式会社〇〇

御中

このサポート・ブックは、御社にて働く際に仕事をスムーズに遂行できるよう、支援者の方と相談して作成しました。
私の特徴や支援方法等について情報共有し、必要に応じてご指導・ご協力いただくと大変有難いです。
どうぞよろしくお願いいたします。

令和 4 年 4 月 1 日

署名：

エルム 太郎

☆個人情報保護のため情報共有される場合は本人の承諾を得ていただければ幸いです。

情報共有ツール（サポートブック）の使い方 ガイド

はじめに

発達障がいのある方への支援は、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応した一貫した支援が求められます。しかし、現状では、小学校入学・高校進学などライフステージの移行とともに所属する機関や支援機関等が変わるたびに、これまで受けてきた支援の内容や本人の特徴を—から説明しなくてはならず、また説明した内容が十分に伝わらず、支援に反映されていないことが多々ある状況です。

大阪市では、ライフステージが変わっても切れ目なく本人の特性や支援の仕方などを新しく所属する機関や支援機関に適切に伝えることができるようになることを目指して、「情報共有ツール（サポートブック）」を作成しました。

この冊子は「情報共有ツール（サポートブック）の使い方について、基本的な内容をまとめたものです。また、ライフステージごとに作成する「情報共有ツール（サポートブック）の具体的な記載例を載せた記入例も別途作成しておりますので、本冊子とともにご参照ください。

情報共有ツール（サポートブック）を活用することで、「切れ目のない支援」の実現に少しでもお役に立てることを心より願っております。

支援者、支援機関の皆様へ

この情報共有ツール（サポートブック）は、ご本人が受けてきた各種支援の経過を記録することで、支援者や支援機関が変わっても、切れ目なく適切な支援を受けることができるようになることを目的としています。そのため、家族や本人が作成することが原則ですが、内容によっては支援者や支援機関の助言が必要となる場合があります。そのときは、ぜひ、書く内容・書き方についてご助言くださいますようお願いいたします。（書き方などに決まりはありません。各機関にとってやりやすい方法でご助言いただけると有難いです。）

情報共有ツール（サポートブック）の作り方・使い方

① 情報共有ツール（サポートブック）とは

- ・情報共有ツール（サポートブック）は、ご本人に関するさまざまな情報（特徴・接し方・支援方法など）を保護者またはご本人がまとめた冊子です。
- ・情報共有ツール（サポートブック）を記入することにより、ご本人に関するさまざまな情報（特徴・接し方・支援方法など）を支援者や支援機関に伝えやすくなるだけでなく、ご本人の特性をより理解することができ、新しい対応や工夫を考えるきっかけにもなります。

② 情報共有ツール（サポートブック）の作り方

- ・日々の生活の中で工夫されているかわり方や、ご本人が困ること（不安になる等）が多い状況とそんな場合におこなっている工夫・対応方法などを記入します。
- ・また、これまでの対応の中でうまくいったこと、引き続き継続して配慮してほしいことについても記入します。
- ・可能であれば、これまでにかかわってこられた支援者（保育園・小・中学校の先生、医療機関の先生など）の方に支援方法（かわり方や対応の工夫など）を記入してもらってください。

③ 情報共有ツール（サポートブック）の使い方

- ・ご本人が就職するまでには小・中・高等学校進学などさまざまなライフステージが待っています。次のライフステージへ進むときに、ご本人に関する情報（特徴・接し方・対応の工夫など）を新しい支援者や支援機関に引き継いでいくことは、ご本人が新しい環境で安心して過ごすために大変役に立つことです。
- ・情報共有ツール（サポートブック）は、あくまでも、先生や支援者がご本人への新しい支援を考えるときに参考にしてもらおうためのものです。そのため、新しい環境では、これまでの支援を必ずしもすべて引き継ぐとは限りません。また、これまでうまくいった支援方法が新しい環境や人の前でもうまくいくとも限りません。しかし、これまでの支援の情報を伝えておくことで、先生や支援者が新しい環境の中で実現可能なことを工夫したり、新しい環境に合わせて変更するための手助けになります。

各ライフステージでの支援の状況と情報共有ツールの使い方

～小学校での支援の状況～

保育園・幼稚園のときは自由度の高い内容の活動が中心となりますが、小学校になると「時間の使い方」が規則正しく進んでいくようになります。また、活動の中心が「遊び」から「勉強」へと変わり、基礎的な知識や思考力・判断力を育て、主体的に学習に取り組む態度を身につけていきます。さらに、小学校は、初めて集団で学習をする場となり、その経験によって本人が大きく成長する機会であると同時に“初めて”をたくさん経験する場でもあるため、保護者はもちろんご本人も新しい環境に戸惑うことが多いと思います。

ご本人の特徴や家庭での支援方法などの情報を、担任の先生などに伝えておくことは、スムーズに小学校生活をスタートさせることにつながります。

○情報共有ツール（サポートブック）を使って話し合うのは…

いつ？：入園・入学・通所 前と直後（担任の先生が決まってから）

誰と？：保育所・園、療育機関、小学校の学級担任・コーディネータ等の先生方



～中学校での支援の状況～

小・中学校は同じ義務教育ですが、勉強面では、小学校は一人の学級担任がほぼ全部の教科を担当しているのに対し、中学校は教科ごとに担当教師が変わり、定期考査で教科ごとに試験するなどシステムが大きく変わります。生活面でも、中学校からは部活動が始まり、これまでと違い「上下の人間関係」が生まれるなど、小学校の頃に比べてコミュニケーションも複雑になっていきます。

また、思春期を迎え、心身ともに大きく変化する時期でもあり、変化に敏感な発達障がいのある子どもたちは不安感が特に強まる傾向にあります。

これまでの生活で培ったご本人の特徴や家庭での対応の方法を伝えることで、中学校でも継続して配慮していただくことができ、ご本人の安心にもつながります。

○情報共有ツール（サポートブック）を使って話し合うのは…

いつ？：入学 前と直後（担任の先生が決まってから）

誰と？：担任・学年主任・特別支援教育コーディネータの先生方



～高校（高等学校）での支援の状況～

高校は、中学校とは異なり義務教育ではないため、通うのは本人の自由意思であり、成績不良や出席日数が足りないと留年することもあります。また、高校には、全日制・定時制・通信制などがあり、さらに一般的な教科を中心とする普通科、専門的な教科を中心とする専門学校など、教育の内容も選択する高校によって異なります。

さらに、中学校に比べて集団生活も多様化し、より高いコミュニケーション能力が求められるようになります。また、本人に自立心の芽生えもあり、大人の言うことをきかなくなる時期にもなりますので、本人の自主性を大切にしながらも、大切な選択をするときは、周囲の大人が支援することは不可欠です。

本人の意思を尊重しながらも、周囲の大人が選択肢や判断基準を伝え、最終的な判断を本人がしやすいように配慮していくことが求められます。

○情報共有ツール（サポートブック）を使って話し合うのは…

いつ？：入学前と直後（担任の先生が決まってから）

誰と？：学級担任・学年主任・特別支援教育コーディネーターの先生方

～高校卒業後の支援の状況～

高校を卒業後、大学・専門学校への進学などそれまでの学校とは状況が大きく変わり、日常生活面・学業面で小学校～高等学校よりも自由度がかなり高くなり、それにとまって自分で計画し主体的に動くことが必要となります。また、対人面でもこれまでと比べると、同年代の人たちを中心に幅広い年齢や考え方を持った人たちと出会い、かかわる機会が多くなります。

さらに、これまでのようにクラスや担任がしっかりと決まっていることは少ないため、支援が必要な場合も職員や関係者が気付いて声をかけることは難しくなり、ご本人や家族が自ら申し出る必要があります。

○情報共有ツール（サポートブック）を使って話し合うのは…

いつ？：入学前がおすすです！

誰と？：学生や諸手続きや相談にのってくれる窓口（学生支援室等

～進学先によって、学生支援室、カウンセリングルーム、保健管理センターなど名称はいろいろです。

～大学等卒業後の支援の状況～

大学等を卒業後、必ずしもすぐに就職するわけではなく、就職はできても職場が求める働きができずに離職に至る場合、公共職業安定所（ハローワーク）・障がい者職業センター・職業訓練校・福祉施設（就労移行支援事業所）などを利用する場合があります。

また、就職をしても仕事をするには、自らの役割を果たし、その対価としてお金をもらうものであり、これまでの学校生活以上に責任が求められます。本人が大きく成長できる場であると同時に、さまざまな年齢層や価値観をもった人たちと交流ができる場でもあり、本人の人生にとってとても有意義な場であるとも言えます。

そこで本人が持てる力を職場において十分に発揮して長く働き続けるためにも、これまで同様にご本人の特徴や家庭での対応方法などの情報が欠かせないものになり、これらの情報が、職場や支援機関と保護者との双方向のコミュニケーションツールになります。

○情報共有ツール（サポートブック）を使って話し合うのは…

いつ？：就職した時やサービス利用開始時

誰と？：人事担当者、公共職業安定所、障がい者職業センター、訓練校・福祉施設職員など



大阪市発達障がい者支援センター

おおさかしりつしんしんしょう しゃ はつたつしよ しゃしえんしつ
大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター発達障がい者支援室